令和6年度 生活支援コーディネーター 現任者研修Ⅱ

実施案内

1 目的

「生活支援コーディネーター初任者研修」（平成 27 年度から平成 29 年度までは「生活支援コーディネーター養成研修」）を受講した方を対象に、地域住民が主体となって取り組んでいる高齢者への支援活動や、高齢者が主体となって取り組んでいる地域活動を視察し、活動者や生活支援コーディネーター等がどのような意図をもって地域の住民や団体に関わり、支援しているのか等を学ぶ機会を提供することにより、各区市町村における生活支援体制整備事業の推進を支援することを目的とします。

2 実施主体

東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課（以下「都」という。）

※研修実施機関：社会福祉法人東京都社会福祉協議会（以下「東社協」という。）が都より委託を受けて実施します。

3 受講対象者

「生活支援コーディネーター初任者研修」を受講した方。ただし、平成 30 年度から今年度（令和 6 年度）までに「生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ」の受講決定を受けた方を優先します。

※前年度以前に本現任者研修Ⅱを受講した方は対象外とします。

4 研修日程・定員・視察先

以下 A～G コースの中から 1 コース選択の上、受講。

※詳細は「9 コースごとの集合場所・視察先概要等」をご確認ください。

視察地域	コース	日 時 (開始時刻=集合時間)	定員	視察先
豊島区	A	令和 6 年 11 月 12 日(火) 13 時 00 分～16 時 00 分	5	豊島区でサロンをやってみる会
荒川区	B	令和 6 年 10 月 29 日(火) 14 時 00 分～16 時 00 分	3	銭湯でスマホ相談会
足立区	C	令和 6 年 11 月 12 日(火) 12 時 15 分～15 時 15 分	5	送迎支援グループ「きずなちゃん」
府中市	D	令和 6 年 10 月 29 日(火) 14 時 00 分～16 時 30 分	3	おかえり広場
町田市	E	令和 6 年 11 月 7 日(木) 12 時 00 分～14 時 00 分	5	ほっとスペースさくらさくら& 地域交流スペースよりみち広場
日野市	F	令和 6 年 10 月 22 日(火) 10 時 00 分～12 時 30 分	5	丘陵地の買い物支援
	G	令和 6 年 10 月 23 日(水) 13 時 00 分～16 時 00 分	4	ぷらっとカフェ&南平の保健室

(研修内容)

主な内容は以下の通り。

各コース、移動時間を含め2時間半～3時間を目安として企画しています。

コースによって研修内容が前後する場合がありますので、予めご了承ください。

	内容	ポイント
①	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">● 研修目的・内容の確認● 受講者自己紹介● 視察地域における生活支援体制整備事業について● 視察先に関する概要説明
②	活動視察・ヒアリング	<ul style="list-style-type: none">● 日常の活動を見学● 活動のキーパーソンからのヒアリング 活動の立ち上げに至った思いや課題認識、利用者等の参加動機や参加後の変化、コーディネーターの関わり、今後の展開等について
③	コーディネーターからの報告・研修振り返り	<ul style="list-style-type: none">● コーディネーターからの報告 視察した活動とのこれまでの関わり、支援内容とその過程、今後の展開等 <ul style="list-style-type: none">● 受講者の感想・気づきの共有● 質疑応答 等

5 申込方法及び提出期限

以下 Google フォームよりお申し込みください。Google フォームへのアクセスが難しい場合は、【別紙】「受講申込書」をメールにて東社協宛に送付してください。

Google フォーム→<https://forms.gle/hhrdRQRrTFfccfbu5>

提出期限 **令和6年9月18日(水)正午【必着】**

6 申込みに当たっての注意事項

- (1) 「受講申込書」に参加を希望するコースの順位をご記入ください。なお、定員を超えた場合は受講できない場合がありますので、予めご了承ください。
- (2) 受講決定後、集合時間・場所の詳細や当日の緊急連絡先等のご案内を E メールにて受講者へ送付いたします。
- (3) 研修を受講するにあたって発生する交通費や昼食費等は、受講者負担となります。
- (4) 本研修では、生活支援コーディネーター業務におけるネットワークづくりに活かしていただくため、「氏名」「所属」を掲載したコースごとの受講者名簿を作成し、研修当日に配布する予定です。

※提供いただいた個人情報は上記「1 目的」に関すること及び今後の研修のご案内以外には使用しません。

7 受講者への決定通知

令和6年9月下旬に都が参加コースの決定を行い、東社協から受講申込者に通知します。なお、上記「6 申込みに当たっての注意事項(2)」に記載のとおり、受講決定後、受講者本人に対して研修当日の緊急連絡先等をお知らせいたしますので、予めご承知おきください。

8 受講料

無料

9 コースごとの集合場所・視察先概要等 ※集合場所・研修時間の変更がある可能性があります。

Aコース(豊島区)：第7回豊島区でサロンをやってみる会議

①日時	令和6年11月12日(火)13時00分～16時00分
②研修会場 (集合場所)	西部区民事務所 2階会議室(豊島区千早2-39-16) 東京メトロ有楽町線千川駅3番出口より徒歩6分
③視察先	豊島区でサロンをやってみる会
④視察先概要・ ポイント	<p>令和4年に「自分たちの町を、自分たちで住みやすくしてみませんか？」と2層コーディネーターから呼びかけ、令和5年に集まった住民さんたちと一緒に「豊島区でサロンをやってみる会」を結成し、サロン活動(食事会、おしゃべり会、ふくろうを見る会、等々)をしています。</p> <p>当日は「第7回豊島区でサロンをやってみる会議」という会議イベントを開催します。住民さんから活動報告をしていただき、質疑応答などを通じ、会のメンバー同士の交流の機会としつつ、この日、初めてこの会議に来た住民さんが新規メンバーになって、一緒に活動をしてくれたらいいなと思っています。</p> <p>キーワード：社会参加、新たなコミュニティ作りの社会実験</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 38,106人(区全体 291,650人) ・高齢化率 21.5%(区全体 19.4%) ・2層圏域数 8つ(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの人数 10人(社協・包括・その他)
⑥備考	<p>現任者研修の視察ではありますが、いち参加者として参加していただいで大丈夫です。他自治体の2層コーディネーターとして質問や感想など、お気軽にご発言ください。</p> <p>まだ確定ではありませんが、会議終了後、場所を移動し、住民の皆さんと一緒に軽い夕飯を兼ねた交流会を開催するかもしれません。開催の場合、詳細は当日ご案内しますので、お時間ありましたらご参加ください。</p>

Bコース(荒川区)：ニュー恵美須 銭湯でスマホ相談会

①日時	令和6年10月29日(火)14時00分～16時00分
②研修会場 (集合場所)	銭湯ニュー恵美須(荒川区東尾久4-17-9) 日暮里舎人ライナー 赤土小学校前駅より徒歩2分
③視察先	ニュー恵美須 銭湯でスマホ相談会
④視察先概要・ ポイント	<p>スマホを使ってあらゆる情報を取る時代に、高齢者自身も対応できるための支援事業を創設しました。自身のスマホの操作を熟知できるように支援すること、スマホを使って、地域の通いの場や健康増進事業等を検索し、参加できるようにすることを目的としています。</p> <p>会場は、地域の銭湯をお借りしており、銭湯を利用しなくてもスマホ相談会への参加が可能です。荒川区民は銭湯が好きで、現在も銭湯が地域交流の場所になっています。銭湯の理解があつてこそできた事業です。</p> <p>キーワード：社会参加の促進、デジタルデバイトの解消、情報リテラシーの向上による特殊詐欺防止</p>

⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 219,813人（区全体） ・高齢化率 22.3%（区全体） ・2層圏域数 8つ（包括圏域と同じ） ・2層コーディネーターの人数 8人（社協・包括・その他）
⑥備考	<p>研修終了後も状況によってはコーディネーターや関わる方々への質問は可能です。</p> <p>また、希望者は有料ですが銭湯に入ってお帰りください。</p> <p>※タオル等有料ですが備えてあります。</p>

Cコース（足立区）：誰もが活動参加できる地域へ ～送迎支援グループ「きずなちゃん」の活動～	
①日時	令和6年11月12日（火）12時15分～15時15分
②研修会場 （集合場所）	足立区地域包括支援センターあだち（足立区足立4-13-22） 東武スカイツリー線五反野駅より徒歩5分
③視察先	認知症カフェ「a-café」の送迎支援、立ち上げ支援について
④視察先概要・ ポイント	<p>「送迎支援グループきずなちゃん」は住民の協力を得て、地域包括支援センターあだちが開催するカフェ「a-café」参加者の送迎を行っています。</p> <p>経緯は令和5年度の地域ケア会議にて「認知症のご夫婦を地域でどう支えるか」というテーマで話し合い、地域で孤立させず元気なうちから集まれる場所づくりや、包括のカフェに一人で行くことができない方のために送迎支援の必要性が課題に挙がりました。地域には類似したケースも多く、第2層協議体にて住民と「地域で認知症をどう支えていくか」について話し合い、課題となっていた「送迎支援」について意見交換を行い、コアメンバーを募り創出したグループです。送迎に協力してもらうことで参加者の外出支援が徐々にできるようになっています。</p> <p>当日は1層コーディネーターから区全域について、包括から立ち上げについてご説明します。</p> <p>【参考URL】 http://www.adachifukushi.net/</p> <p>キーワード：移動支援、住民のささえあい、仕組みづくり、認知症</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 18,842人（区全体 693,121人） ・高齢化率 24.2%（区全体 24.4%） ・2層圏域数 25つ（包括圏域と同じ） ・2層コーディネーターの人数 25人（社協・包括・その他）
⑥備考	当日は参加者のお迎えへの同行のほか、認知症カフェ「a-café」にも参加していただければと思います。

Dコース(府中市)：ひとりぼっちを作らない ～子どもの見守りを通じた地域交流の場～	
①日時	令和6年10月29日(火)14時00分～16時30分
②研修会場 (集合場所)	南町西部公会堂(府中市南町4-40) 京王線中河原駅より徒歩9分
③視察先	おかえり広場
④視察先概要・ ポイント	<p>おかえり広場は、市内11圏域にある第2層協議体のうちの1つである「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」が立ち上げた活動です。学童クラブから帰宅後、1人で親の帰りを待つ児童を見守ろうと平成29年3月から週1回17時～19時という時間帯で活動を開始しました。その後、学童クラブの時間延長などがあり、対象や時間帯を拡大。現在は宿題やゲームを通して子どもたちと地域のボランティアが交流する場として週1回の活動を継続しています。</p> <p>ボランティアは70代前後が多く、約20名のうち3分の1は男性。児童の成長を見守ることが、ボランティアにとってもやりがいのある活動となっています。</p> <p>保護者との連絡調整やボランティアの割り振りなど、運営はすべてボランティアで実施。利用児童が増えてきたことでボランティアが不足しつつあるため、コーディネーターとしては担い手の確保が課題だと感じています。</p> <p>【参考URL】https://sbmsasaeai.jimdofree.com/</p> <p>キーワード：住民主体活動、多世代交流、社会参加</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 27,020人(市全体 261,029人) ・高齢化率 22.5%(市全体) ・2層圏域数 11つ(包括圏域も令和6年10月から11となる) ・2層コーディネーターの人数 27人(社協・包括・その他)
⑥備考	

Eコース(町田市)：高齢化の進む団地で住民同士の支え合い	
①日時	令和6年11月7日(木)12時00分～14時00分
②研修会場 (集合場所)	小山田桜台商店街(町田市小山田桜台1-20-5) 神奈川中央交通「町田バスセンター」または「淵野辺駅北口」から小山田桜台行き「桜台センター前」下車
③視察先	ほっとスペースさくらさくら・地域交流スペースよりみち広場
④視察先概要・ ポイント	<p>高齢化の進む小山田桜台団地は、エレベーターなしの5階建てやタウンハウスの造りをした賃貸と分譲の集合住宅です。高齢になり身体機能が低下し階段の上り下りが困難になると、ゴミ捨てや買い物に困るといった課題や、独居、高齢世帯も増えており孤独死への不安の声も上がっています。</p> <p>ほっとスペースさくらさくら、地域交流スペースよりみち広場は誰もがふらっと立ち寄り、気軽に相談ができる場所として地域住民、まちづくり協議会が協力し令和2年に立ち上がりました。日常の困りごとを住民同士で助け合うワンコインサービスやお弁当配達、マージャン、体操グループなどの住民活動が行われて</p>

	<p>います。</p> <p>キーワード：見守り、住民主体の活動、通いの場、多世代交流、フレイル予防、有償ボランティア</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・小山田桜台の人口 3,358人（市全体430,611人） ・小山田桜台の高齢化率 48.7%（市全体 27.3%） ・2層圏域数 12つ（包括圏域と同じ） ・2層コーディネーターの人数 12人（社協・包括・その他）
⑥備考	<p>当日さくらさくらではお惣菜販売、よりみち広場では麻雀を行っています。説明の後に活動見学をしていただきたいと思います。</p> <p>研修終了後も引き続き視察していただいても構いません。</p>

Fコース(日野市)：南平地区社会福祉協議会 南平にあったかい風を吹かせる①	
①日時	令和6年10月22日(火)10時00分～12時30分
②研修会場 (集合場所)	日野市社会福祉協議会ほっとも南平(日野市南平8-14-4) 京王線南平駅より徒歩7分
③視察先	丘陵地の買い物支援
④視察先概要・ポイント	<p>南平地区社会福祉協議会(通称：ぷらっと南平)では「あったかい風を吹かせる」をコンセプトに、地域交流や困りごと解決に向け、地域住民、地域包括支援センター(2層コーディネーター)、福祉関係者など多くの協力者と共に活動を行っています。</p> <p>バス停がない地域、いわゆる交通空白地の買い物支援を考えた2層コーディネーターが南平地区社協及び福祉施設の協力を得て1か所目の買い物支援を始めて5年。南平地域は丘陵地であることから、買い物に困っている高齢者はまだいるのではないか?という地域の声を聞いた2層コーディネーターが買い物に不便を感じているであろう地域、交通空白地等を再調査し、必要とされる地域を選定。自治会や老人会などにも声をかけ利用者を決定。そして送迎を担う福祉事業所の理解を得て今年5月にスタートした南平地域2か所目の買い物支援です。</p> <p>～買い物支援の流れ～</p> <p>福祉事業所で行うデイサービスの朝のお迎え終了後、買い物支援を必要とされる方のご自宅へお迎えし、スーパーへ。買い物先のスーパーでは南平地区社会福祉協議会のスタッフが待機し、荷物持ちや支払いのお手伝い(キャッシュレス対応)などを中心に、高齢者が買い物をする際の困りごとに寄り添い、買い物終了後には福祉事業所の車に乗り込み、自宅までお送りします。</p> <p>キーワード：買い物支援、移動支援、社会参加、地域連携、地区社協</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口16,294人(市全体187,617人) ・高齢化率27.6%(市全体24.8%) ・2層圏域数9つ(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの数9人(社協・包括・その他)
⑥備考	<p>当日の天候等にもよりますが、実際に居住地区(丘陵地)まで歩きますので、動きやすい服装(履きなれた靴)でお越しください。</p>

Gコース(日野市)：南平地区社会福祉協議会 南平にあったかい風を吹かせる②	
①日時	令和6年10月23日(水)13時00分～16時00分
②研修会場 (集合場所)	日野市社会福祉協議会ほっとも南平(日野市南平8-14-4) 京王線南平駅より徒歩7分
③視察先	ぷらっとカフェ 南平の保健室
④視察先概要・ ポイント	<p>南平地区社会福祉協議会(通称：ぷらっと南平)では「あったかい風を吹かせる」をコンセプトに、地域交流や困りごと解決に向け、地域住民、地域包括支援センター(2層コーディネーター)、福祉関係者など多くの協力者と共に活動を行っています。</p> <p>ぷらっとカフェ 南平地区社会福祉協議会が居場所づくりとして始めました。南平の一角にあるアパートの一室を手作りでリフォームし、「ちょっとお茶を飲める場所」「ちょっと立ち寄れる場所」を作り上げました。 10人も入ったらいっぱいになってしまいますが、いつも賑やかに、みんなで和む場所として展開しています。</p> <p>南平の保健室 地域ケア会議など諸会議を経て出てきた地域課題「専門職相談を身近で受けたい」の声に応え、2層コーディネーターと専門職が3か月に1回開催している南平の保健室。看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士が予約不要出入り自由で日常生活上の痛みや不安の相談を受け付けます。相談ブースがいっぱいの時は、すぐ横で南平地区社協のみなさんが煎れるお茶でゆっくり雑談しながら待つことができます。</p> <p>キーワード：社会参加、多職種連携、フレイル予防、地区社協</p>
⑤エリア・圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口16,294人(市全体187,617人) ・高齢化率27.6%(市全体24.8%) ・2層圏域数9つ(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの数1人(社協・包括・その他)
⑥備考	どちらの会場も狭いため、長時間の滞在が難しくなります。しかし2つの会場が徒歩圏内なので両方見学していただくこととなります。

【企画・実施協力】

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
 労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団
 荒川区
 社会福祉法人 あそか会
 社会福祉法人 足立区社会福祉協議会
 足立福祉サービス株式会社
 社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
 町田市
 社会福祉法人 町田市社会福祉協議会

社会福祉法人 町田市福祉サービス協会
社会福祉法人 日野市社会福祉協議会
医療法人社団 英世会

10 その他

- (1) 研修後、アンケートにご協力をお願いいたします。受講終了後、Eメールにてご案内する予定です。
- (2) 修了証は発行しませんので、予めご了承ください。

11 申込み・問い合わせ先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当（西山・西嶋・西成）
〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ5階
電話 03 (3268) 7186 MAIL tokyo-seikatsushien@tcsw.tvac.or.jp